

市の人口と世帯数 (平成13年 8月1日現在)			
			前月比
人口	男	89,977人 (1,009人)	15増 (13増)
	女	90,962人 (1,261人)	86増 (20増)
	合計	180,939人 (2,270人)	101増 (33増)
世帯数		79,307世帯 (1,162世帯)	119増 (32増)

カッコ内は外国人登録人口(再掲)

今号の主な内容

3面

障害者の方への
主な福祉施策

障害者の方への医療や補装具・日常生活用具等の助成制度、日常生活の援助にかかるサービスの提供等をご案内します。

4面

下野谷遺跡等で出土
された土器を公開



市内の下野谷遺跡で出土された土器を中心に展示・公開します。

5～6面

IT講習会に
ご参加を



初心者を対象としたITに関する基礎的な技術習得のための講習会を開催します。

7面

西武柳沢駅北口第一
駐輪場の整備工事



西武柳沢駅北口第一自転車駐車場の整備工事を行います。工事期間は仮設自転車駐輪場を開設します。

総合防災訓練にご参加を



昨年の総合防災訓練会場(東小学校)で

9月2日(日)午前9時 訓練開始のサイレン

メイン会場は
柳沢中学校

毎年8月30日～9月5日は防災週間です。市は、この防災週間中の9月2日(日)に、市民の皆さんと一緒に柳沢中学校で「総合防災訓練」を実施します。

阪神・淡路大震災から6年以上経過しましたが、大都市直下型大地震の恐ろしさ、被害の大きさは今でも忘れることができません。私たちの身近にも、いつ大震災が発生するかわかりません。万一の災害に備え、被害を最小限に食い止めるためにも、市民の皆さん一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という防災意識をもって、この訓練の中で、冷静な行動力を身につけたり、防災機関と連携を密接にして、活動体制の強化を地域で図りましょう。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

訓練に参加された方には、防災記念品を用意しています。

訓練当日の午前9時に、地震発生の場合として市内75か所に設置した防災行政無線によるサイレンが鳴ります。

実施機関

西東京市
田無警察署
保谷消防署
多摩小平保健所
消防団
東京電力(株)武蔵野支社
東京ガス(株)西部支店
NTT東日本多摩営業支店
田無営業所
その他協力団体

防災行政無線(固定系)
定時チャイムの放送時間
が変わります



毎日午後6時に放送している防災行政無線によるミュージックチャイムの放送時間が、9月1日～3月31日は、午後5時の放送となります。

問合せ 防災課
(保谷庁舎 ☎内線2233)

訓練の内容

午前9時の地震発生合図(防災行政無線によるサイレン)と同時に、市民の皆さんは、左記の市民の集合場所へ集合してください。

集合場所では、消防団による震災消防活動訓練を行った後、午前9時15分に「避難勧告」が発令されますので、関係機関の指示により訓練会場へ避難します。訓練会場では「体験訓練」と「見る・聞く」訓練を実施します。

市民の皆さんの集合場所

しじゅうから公園(柳沢一丁目14番)
やなぎばし公園(新町二丁目4番)
この集合場所は、を除き訓練のために設定したものです。

見る・聞く訓練

○避難所開設訓練(緊急初動要員等により、柳沢中学校体育館に避難所開設)
○ライフライン応急復旧訓練(電気、ガス、電話、水道の応急処置)
○防災パネル展示
○総合訓練(市民による小型ポンプでの消火活動訓練、消防署消防団による一斉放水)
○保谷柳沢第二学童クラブ、保谷柳沢学童クラブによる防災絵画作品の展示

体験訓練

○煙ハウス(火災時の煙の流れを体験)
○初期消火(消火器を使つての消火)
○応急救護(三角巾で応急処置)
○炊き出し(自衛隊のカレーライス、市と日赤奉仕団のアルファ米など)
○総合訓練(市民ボランティアによる倒壊家屋からの救出・救護訓練、消火器を使った消火活動)



訓練の日時等

とき 9月2日(日)
午前9時～正午

訓練会場 柳沢中学校

対象区域 市全域(南町・向台町・新町・柳沢を中心に)

訓練の想定

「午前9時に多摩東部直下を震源とする震度7の地震が発生し、南町・向台町・新町・柳沢を中心に大きな被害に見舞われたので、市は柳沢中学校に現地対策本部を設置しました」との想定で行われます。